

平成 28 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア II 講座・准教授
氏名 Name	原真由子
専門分野 Academic Field	社会言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	バリ語山地方言の会話コーパスと語彙データベースの構築
<p>本研究の目的は、バリ語山地方言社会の特徴をふまえた組織的な会話コーパスを構築した上で、言語外の要素と言語構造、言語使用の相互作用を自然会話に基づき考察し、また山地方言に影響を与える平地方言とインドネシア語の混在の傾向と分布を考察することである。そして、会話に現れる語彙を収集済みの基礎語彙に追加し、山地方言に特徴的な文化語彙を含む、言語外の要素と言語の関係、コード混在などの社会言語学的変化に関する情報を盛り込んだ山地方言語彙データベースを編纂することを目指している。</p> <p>今年度は、平成 28 年 9 月に約 2 週間、平成 29 年 2 月に約 10 日間実施した。バリ語山地方言地域であるインドネシア共和国バリ州ブレレン県プダワ村において、現地の昔話、宗教儀礼にかかわる語り、儀礼における口上、その際のやりとり、またそこに現れる語彙を収集・記録した。また、同じく山地方言使用地域である隣村のシドタパ村を訪問し、プダワ村との違いや共通点などを今後考察するための情報収集をおこなった。さらに、現地の大学・研究機関（ウダヤナ大学、ワルマデワ大学、国立言語研究所デンパサール支所など）の研究者と、インドネシア語、バリ語、その他地方語などにかかわる言語学的・社会言語学的な事柄について議論し、意見交換をした。</p> <p>また、インドネシア語言語学およびインドネシア語教育についても研究をすすめた。平成 28 年 6 月にダルマプルサダ大学（インドネシア共和国）で開催された日本インドネシア学会特別ジャカルタ大会において、日本におけるインドネシア語教育の現状について発表し、加えて、インドネシア語におけるとりたて表現についての分析結果を発表した。さらに、平成 28 年 11 月に開催された日本インドネシア学会で、この数年間共同研究としておこなっているインドネシア語教育文法記述に関して報告し、今年度末に試作版がほぼ完成した。</p>	